

## 【Bousai support】.shp ファイルをインポートする手順

Mail: [bousai@udri.net](mailto:bousai@udri.net)

.....  
防災まちづくり支援システムβ版（以下、β版）において、.shp ファイルをインポートする際の手順を示したものです。

<注意>

マニュアル8ページを参照の上、正しいデータをご用意ください。

### 1、 【重要】インポート処理の前に

#### ① アップデータプログラムの実行

「Geoconcept explorer Professional 5.0」環境化において、β版を使用した場合、インポートファイル選択の際に.shp ファイル (\*.shp) が表示されない不具合が生じます。解決するためのアップデータプログラムを配布しておりますので、**Bousai support (bousai@udri.net)** にご連絡ください。

#### ② .shp ファイルについて

作成されるファイルには、.shp ファイル以外にも、.dbf ファイルをはじめ複数のファイルがあります。これらすべてのファイルはインポート時に必要になります。ファイルの主な属性は以下の通りです

- 【.shp】 図形の座標が保存されています。
- 【.dbf】 属性の情報が保存されています。
- 【.shx】 shp の図形と dbf の属性の対応関係が保存されています。

### 2、 インポートするファイルを選択

【ファイル】 - 【インポート】 - 【図形のインポート】 をクリックし、インポート処理を開始します。インポートするファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。

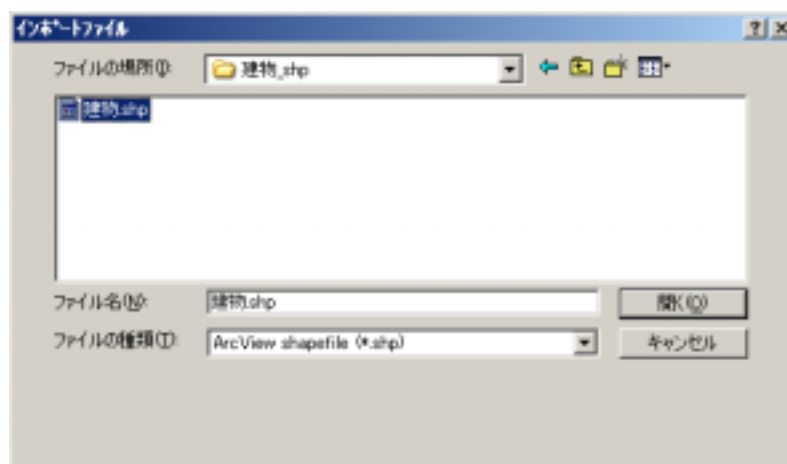


図 1 インポートファイルの設定

### 3、 詳細な設定

ここでは、インポートする際の詳細な設定を行います。

#### ① インポートオプション

[フィールドをインポートする] チェックボックスをオンにする。そのほかの機能はオフのままにする。(推奨)

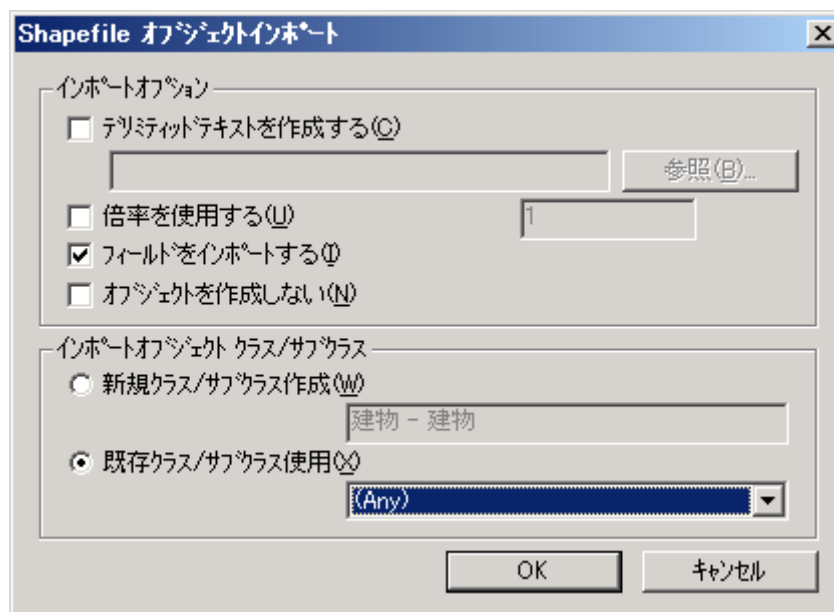


図 2 インポートオプション設定画面

#### <各機能の詳細>

- [デリミティッドテキストを作成する]チェックボックスをオンにすると、shp形式のファイルからGeoConceptテキスト形式(.gxt)でファイルが作成されます。[参照]ボタンで、ファイルを格納するフォルダを選択できます。
- [倍率を使用する]チェックボックスをオンにすると、入力ゾーンがアクティブになり、[倍率を使用する]チェックボックスをオンにすると、入力ゾーンがアクティブになり、インポートするデータのスケールを編集できます。
- [フィールドをインポートする]チェックボックスをオンにすると、インポートファイルの地図データに関連付けられている属性データがインポートされます。
- [オブジェクトを作成しない]チェックボックスは、マップ上にすでに存在するすでに存在するオブジェクトのフィールドを更新する場合に使用します。

#### ② インポートオブジェクト クラス/サブクラス設定

既存クラス/サブクラス使用を選択し、インポートするデータ名をリストボックスから選択します。建物データの場合は<Area\_1-建物>を選択してください。この場合、Area\_1 がクラス、建物がサブクラスとなります。設定が完

了したら、【OK】を押し、インポート処理を開始します。

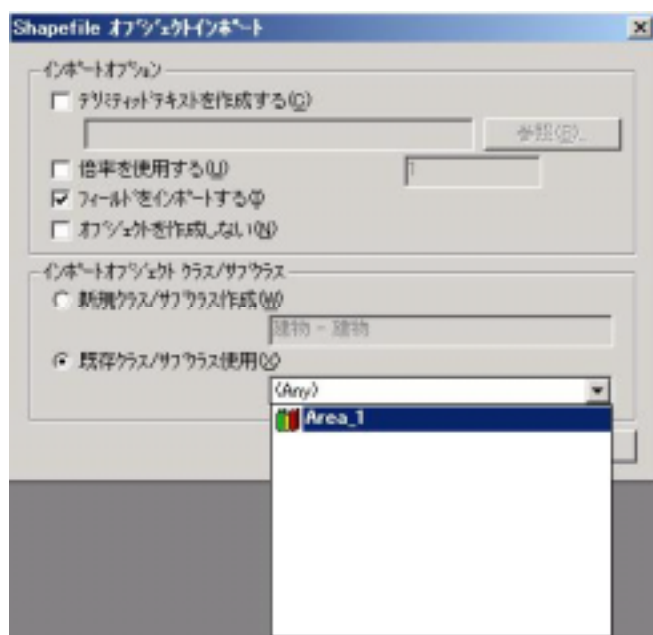


図 3 クラスの設定

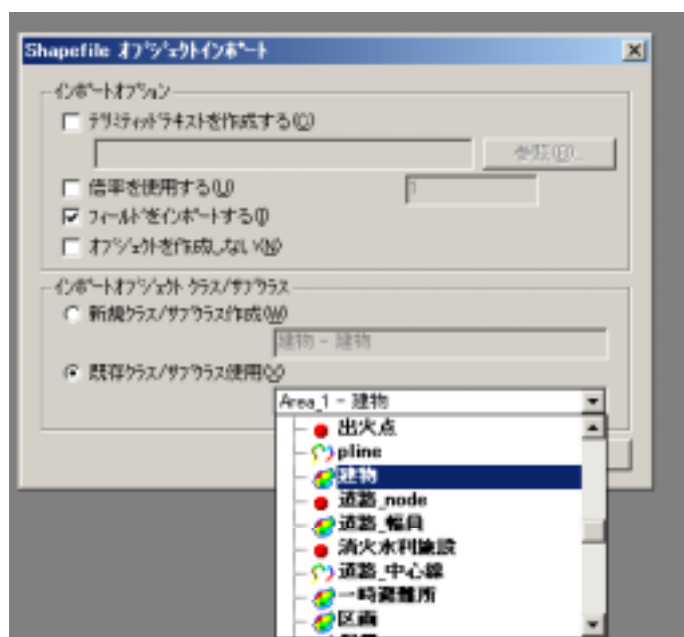


図 4 サブクラスの設定

<各機能の詳細>

- [新規クラス/サブクラス作成]オプションでは、インポートファイル名を使用して、新しいクラスとサブクラスが作成されます。

- [既存クラス/サブクラス使用]オプションでは、.shpファイルがGeoConceptマップにすでに存在するクラス/サブクラスに関連付けられます。

#### 4、 インポート終了後の手順

インポート終了後は、【ファイル】 - 【インポート】 - 【データベース更新】でデータベース更新処理を行う必要があります。

しかし、建物以外に、道路中心線や消防水利施設など複数インポートするデータがある場合は、3と4の処理を繰り返してください。

すべてのインポート処理が終了した後は、必ずデータベース更新を実行して下さい。

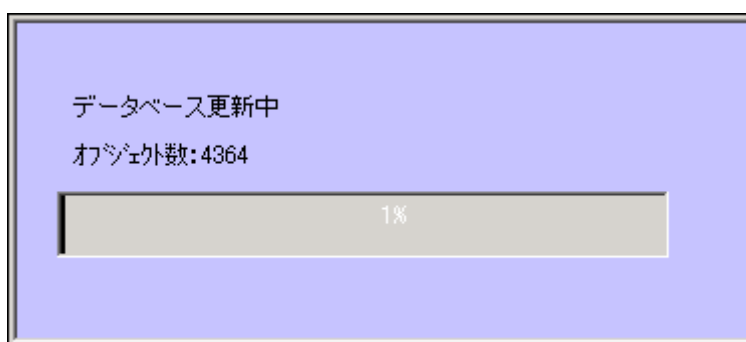


図 5 データベース更新処理画面

#### 5、 データベース更新終了後

データベース更新終了後は防災まちづくり支援システムを再起動する必要がありますので、

【ファイル】 - 【終了】からプログラムを終了して、もう一度ウィンドウズの【スタート】 - 【プログラム】 - 【防災まちづくり β 1.0】 - 【防災まちづくり β】を実行してください。